

会議結果報告書

1. 会議名 令和5年度 第1回 印西市環境推進市民会議
2. 日時 令和5年5月19日(金) 9:30~11:30
3. 場所 市役所会議棟 204 会議室
4. 出席委員：岩井委員、川井委員、國武委員、小山委員、白川委員、富川委員、橋本委員、
福井委員、山崎委員、渡辺(壽)委員、渡辺(統)委員
事務局：板倉市長、岩井環境経済部長、岡本環境保全課長、鈴木課長補佐、
海老原保全係長、清田主査補
5. 傍聴者 2名
6. 配布資料
 - ・会議次第
 - ・資料1 令和5年度の印西市環境推進市民会議について
 - ・資料2 令和5年度 印西市環境推進市民会議スケジュール(案)
 - ・印西市環境推進市民会議設置要綱
 - ・印西市環境推進市民会議委員名簿
7. 内容
 - (1) 開 会
 - (2) 委嘱書の交付
 - (3) 市長挨拶
 - (4) 自己紹介
 - (5) 議 事
 - ①会長・副会長の選出について
事務局：会長・副会長が決まるまでの間、岡本環境保全課長に議長をお願いする。
議長：印西市環境推進市民会議設置要綱第5条において、環境推進市民会議に会長及び副会長を置き、委員の互選により定めるとされていることから、新たに会長・副会長の選出をお願いする。
委員：環境は若い人の問題であり、50年先、100年先を見据える必要があると考える。また、女性躍進の時でもあり、前任期での経験も踏まえ、山崎委員を会長に推薦する。
議長：他に推薦や立候補はあるか。
委員：前任期での経験から、これまで副会長を務めていただいた白川委員を副会長に推薦する。
議長：ただ今、会長に山崎委員、副会長に白川委員の推薦があったがいかがか。
—異議なし—
議長：山崎委員は会長をお引き受けいただけるか。
委員：全日程参加できない可能性があるが、問題ないか。また、会議の進行役という形での会長ということでよければ、引き受けさせていただく。
議長：白川委員は副会長をお引き受けいただけるか。
委員：承知した。

議長：会長に山崎委員、副会長に白川委員という形で決定させていただく。事務局に進行をお返しする。

事務局：この後の進行は、会長に議長をお願いする。

②令和5年度の環境推進市民会議の活動について

—令和5年度の環境推進市民会議の活動について事務局より説明—

—昨年度の活動について委員より説明—

事務局：昨年度の活動の中で提案があった「環境カレンダー」については、広告業者を通じて印刷し、広告を掲載することで経費をかけず作成する案を検討している。

委員：企業との連携という意味では良い案ではないか。

委員：環境とは関係のない企業が入る可能性もあるのか。

事務局：広告業者が掲載企業を募集する形となり、滞納の有無などは審査させていただくが、環境に関連した企業から募集するかどうかは確認させていただく。

委員：その方法で作成する場合は、スケジュールの問題もあるため、早めに打ち合わせさせていただきたい。また、掲載する広告は、環境に関連した企業のものの方が良いのではないかと考える。

委員：何部印刷する予定なのか。

事務局：その点についても、広告業者との調整が必要と考える。

委員：ゼロカーボンシティ宣言について、環境保全課は現在どう考えているか。

事務局：昨年度、職員の意識醸成のため、幹部職員を対象とした研修会などを実施しており、ゼロカーボンシティ宣言に向けた準備を行っているという趣旨で議会でも答弁している。第3次印西市環境基本計画では国と同様の2030年度までに基準年度比46%削減という目標を掲げており、計画に沿った形で市民・事業者・行政が一体となり取組を進めていかなければならないという認識ではあるため、今しばらくお待ちいただきたい。令和5年度は、担当課で地球温暖化に関するシンポジウムも予定しており、市民に対しても啓発を行っていきたいと考えている。

委員：意識の問題で宣言できないということか。2年前は、データセンターが相次いで建設されることでエネルギー消費量が多くなることが予測されることから、宣言できないという話であったと思う。

事務局：第3次印西市環境基本計画の策定にあたっては、様々ご議論いただいていたと承知しており、意識醸成だけの問題ではないと考えているが、まずは職員の中で地球温暖化に対する意識醸成を図るということで取り組ませていただき、今後宣言に向かいたいと考えている。

委員：現在千葉県内でゼロカーボンシティを宣言していない10万都市は3つしかなく、10万都市以上の90%が宣言している状況である。その3つの中に印西市が入っている。市長が議会や記者会見で発表することで宣言になるにもかかわらず、根回しばかりで話が進んでいない。やる気があるのか聞きたい。

委員：今年のシンポジウムで市民の意識醸成を図るということであるべく早めをお願いしたい。また、これまでの環境白書の掲載内容の半分は市役所の地球温暖化の取組だと認識しており、職員の意識醸成が図れていないということはないと考える。宣言の手續

きは、市役所の職員全員の合意がないといけないのか。

委員：市長が宣言するだけで良い。

委員：そういうことであれば、環境部局がやろうとなれば、宣言できるのではないか。

委員：今やゼロカーボンシティを宣言しても手遅れで、2050年ゼロカーボンを達成しても、地球温暖化は防げないと言われている時代である。職員の意識醸成を行っている場合ではないのではないか。

事務局：旗を振るだけで取組が何もない状況では絵に描いた餅になってしまうため、宣言するからにはどういう事業を行いゼロに向けて進んでいくかを具体的にし、市長も認識した上で宣言を行いたいと考えている。

委員：今の事務局の説明は真摯な意見だと感じており、絵に描いた餅で宣言するのは意味がなく、それについて具体的にどのような政策がついてくるかが大事である。

委員：今年度中に宣言しないと手遅れである。地球温暖化については、今後10年間で勝負と言われており、今やらないと数千年温暖化が続くと言われている。

委員：ゼロカーボンについては、市としては根回しが必要と言うのも理解できるが、現状出遅れてしまっているという印象を受ける。議会に請願として提出するということも考えられないか。

委員：議会では、ゼロカーボンシティ宣言について既に質問されている。

事務局：昨年度は、グリーンインフラ、サステナブル、カーボンニュートラルの3つのグループに分かれて、市民会議としての取組を検討してきたが、今年度も引き続き同じ形で進めるということによろしいか。

委員：この後環境フェスタについても議論する必要があるため、次回の会議で検討するということではどうか。

事務局：グループ分けについては、次回の市民会議で意見交換させていただく。

③いんざい環境フェスタについて

—事務局より、印西環境フェスタについて説明—

委員：昨年度はクイズの問題数が多く、行列になってしまった印象がある。

委員：一番大きな問題のみ1問で良いのではないか。

委員：説明を展示しておくのは良いと思うが、問題は1問が良い。

委員：何か一つでも子供たちに学んでもらえたらよいと思う。温暖化に関連した展示は不要か。

委員：温暖化については、温暖化防止いんざいのブースで行っている。昨年度の温暖化のブースでも、クイズは1問に設定していた。大人用、小学生用、幼児用と対象者の年齢に合わせてクイズを用意した。市民会議として特に何を伝えたいかということだと思う。

委員：クイズはどんなものがあったか。

委員：ホテル、トンボ、カブトムシに関する3問であったと思う。

委員：ザリガニが来年から特定外来生物になるため、クイズとしては最も重要ではないか。

委員：本来特定外来生物は移動などすると罰金となるが、ザリガニは最後まで飼えば良いといった特例があるため、そういう周知も良いと思う。

- 委員：子供の関心は、ザリガニやカブトムシであると思う。大人は、キンランを取っていつてしまう人がいることもあり、キンランも良いのではないか。
- 委員：子供と大人で違う種類のクイズを用意するのはいい案だと思う。
- 委員：多くの委員が別のブースを兼任しているため、スタッフの数が足りないという問題がある。
- 委員：問題を用紙にして配布するという案もあるが、どれだけ読んでもらえるかということ考えると、紙の無駄になってしまう。
- 議長：当日の午前午後でそれぞれ参加できる人は挙手をお願いします。
—午前3名、午後3名挙手あり—
- 議長：挙手いただいた方は当日お願いします。掲示の内容は、大人用にキンラン、子供用にカブトムシという意見があったが、どうするか。
- 委員：キンランをクイズの題材に選択する理由は何か。
- 委員：キンランを取っていつてしまう人がいるため、それを危惧しての問題である。
- 委員：ホタルについても、大人には伝えたい内容である。まだ印西市内に残っていて、守っていく必要があるということを知ってほしい。
- 委員：ザリガニは特定外来生物になるということだが、小さいザリガニもダメであるということも伝えたい。
- 委員：小さいザリガニは、ニホンザリガニだと誤解している人が多い。
- 委員：今までの話から、問題としてはザリガニとキンランが良いと思う。また、列を作らないという点で、大人と子供各1問ずつという案も良いと思う。
- 委員：できればホタルも入れたい。
- 委員：ホタルは資料として展示する形ではどうか。印西市内の地図を貼りつけ、ホタルを見たことがある人はその箇所にシールを貼ってもらうことで、マッピングしてはどうか。
- 委員：いい案である。
- 議長：去年はカブトムシもクイズに入っていたと思うが、今年はザリガニとキンランとホタルということで良いか。
- 委員：前回も最終的には全問答えてもらうのではなく、どれか1つ答えてもらうという形を取っていたため、3問残しておいても良いと思う。
- 委員：当日参加される方には、状況に応じて、混んでいるときは1問、空いているときは3問などと調整していただく形ではどうか。
- 委員：それなら前回のパネルをそのまま使うことができ良いのではないか。
- 委員：昨年度と同様の問題であれば、クイズの答えを詳細に作成してあるため、当日参加される方は良く読んでいただき当日必要なポイントを解説していただく形をお願いしたい。
- 議長：パネルは昨年のもので使い、混み具合により調整する形で決定したい。
- 委員：当日の詳細は後日連絡いただけるのか。
- 事務局：参加者に対しては、後日個別にご連絡させていただく。
- 議長：環境フェスタの議題が早めに終わったため、議題2に関しての、グループ分けを行いたい。

委員：3グループは、委員の人数を均等に分けているのか。それとも、希望により決めているのか。昨年度から引き続きの方は、どのようなグループ分けとなっているか。

議長：グリーンインフラが川井委員、小山委員、福井委員、渡辺委員、サステナブルが白川委員、橋本委員、村形委員、カーボンニュートラルが岩井委員、山崎委員となっている。

議長：富川委員はいかがか。

委員：グリーンインフラグループを希望したい。

議長：渡辺（壽）委員はいかがか。

委員：グリーンインフラに関心があるため、そちらを希望する。

議長：國武委員はいかがか。

委員：環境カレンダーのサステナブルグループを希望する。

議長：他の委員は、グループ変更等の希望はないか。

—変更希望なし、その他意見なし—

議長：意見等ないので、進行を事務局にお返しする。

(6) その他

—事務局からの連絡事項—

委員：先ほど地球温暖化に関するシンポジウムの話があったが、参加させていただきたく、日程が決まり次第お知らせ願いたい。

事務局：承知した。

(7) 閉 会

以上

令和5年度第1回印西市環境推進市民会議の会議録は、事実と相違ないことを承認する。

令和5年6月22日

印西市環境推進市民会議 委員 川井 正幸

印西市環境推進市民会議 委員 國武 悠人